

厚生労働省北海道労働局発表
平成28年2月19日

【担当】

北海道労働局労働基準部安全課
課長 山谷 幸雄
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

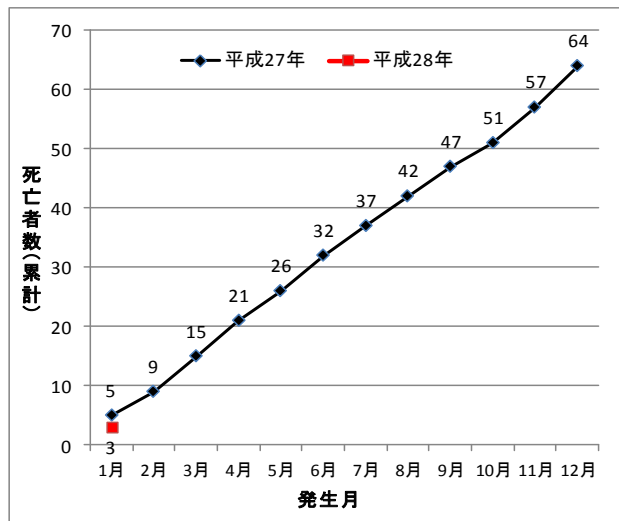
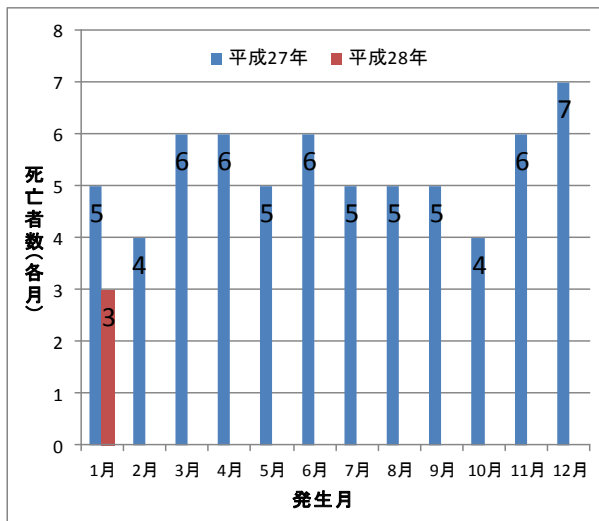
【平成28年】

死亡労働災害は速報値で前年比2人減少 死傷労働災害は前年同期比21.4%減少

— 平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年1月末現在速報値） —

1 労働災害による死亡者数（1月）

平成28年の道内の労働災害による死亡者数は、平成28年1月末現在で3人と、前年と比べ2人の減少となっています。



（1）業種別の状況【資料3、4】

業種別に見ると、「建設業」が2人（全体の66.7%、前年と同数）、「製造業」が1人（全体の33.3%、前年比1人増）となっています。

（2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「崩壊・倒壊」が2人（全体の66.7%）、「有害物との接触」が1人（全体の33.3%）となっています。

2 労働災害による死傷者数（1月）

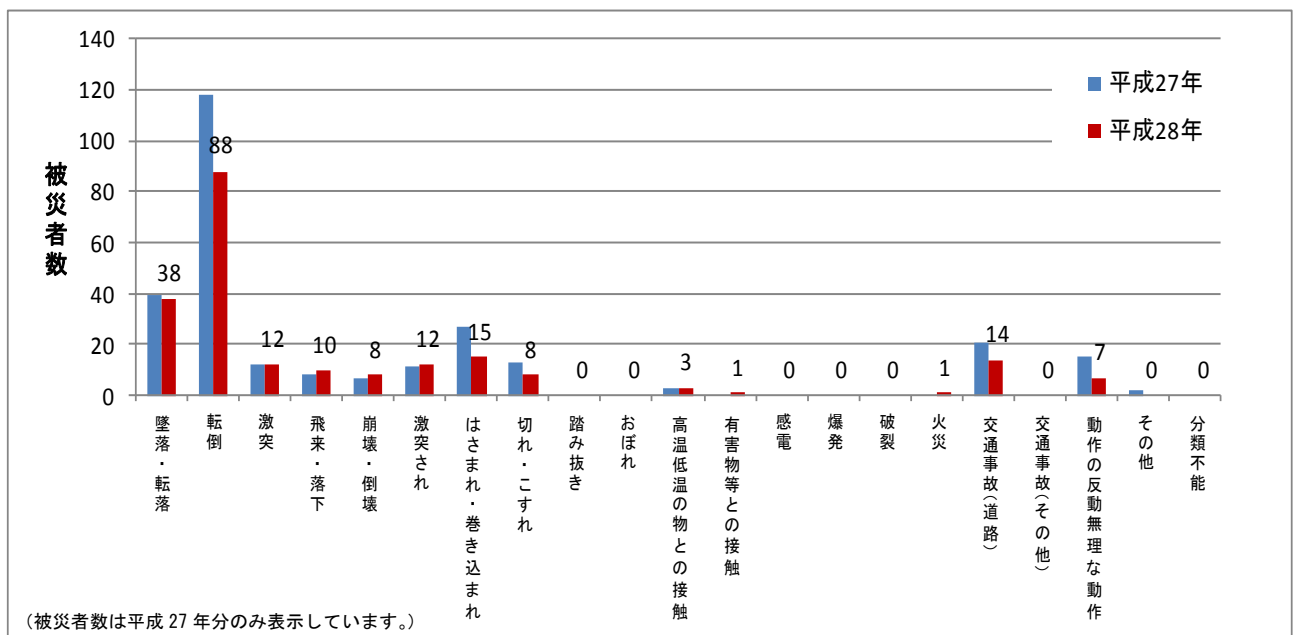
平成28年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成28年1月末現在で217人と、前年同期比59人減（21.4%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が37人（全体の17.1%、前年同期比10人減）と最も多く、次いで「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が31人（全体の14.3%、前年同期比4人減）、「商業」が28人（全体の12.9%、前年同期比14人減）、「建設業」が25人（全体の11.5%、前年同期比7人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料6】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が88人（全体の40.6%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が38人（全体の17.5%）、「はさまれ、巻き込まれ」が15人（全体の6.9%）、「交通事故（道路）」が14人（全体の6.5%）となっています。



3 北海道労働局の対応

北海道労働局では、引き続き「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」（取組期間：平成27年12月1日～平成28年3月31日）の取組みの啓発を行うとともに、降積雪期における労働災害防止のため、「冬季特有の労働災害を防止しよう！」リーフレットを配布し、各事業場における自主的な労働災害防止活動の取組みを推進しています。また、厚生労働省では、本年1月より「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています。

また、2月に入って屋根の雪降ろし作業で3人の方が労働災害で死亡していることから、北海道労働局では、安全な屋根の雪降ろし作業の徹底について、平成28年2月15日に、関係団体を通じて緊急要請を行いました。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成28年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成28年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 5 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 6 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」

「STOP！転倒災害プロジェクト」

「冬季特有の労働災害を防止しよう！」